

令和6年度 南浦中学校評価アンケート

『自立・貢献』～学び合い、支え合い、高め合う生徒の育成

※ 評価は4段階で、「4」が最も高い評価です。
「4」…よくあてはまる 「3」…あてはまる 「2」…あまりあてはまらない 「1」…まったくあてはまらない

校 訓	番 号	項 目	学校の取組と課題	評価欄		今後の改善	評価欄	運営委員 意見
				学校	保護者			
勤 勉	1	「わかる」「できる」を実感させる授業実践と個に応じた授業を行っている。	○各教科1回の研究授業を行い、全職員で参観後、授業研究会を実施し、授業改善に務めた。 ○学びに向かう力の育成のため、県が推進している「ひなたの学び」や学力向上のための各種研修会を基に、職員で研修会を行った。 ○各授業及び、スピーチトレーニングを行い、「根拠をもって説明する」能力の育成を図った。 ○ICT活用を取り入れた授業や、技術分野でのプログラミング学習を行った。 ○家庭学習の効果的な方策を学級で検討し、実施した。 ●少人数教育の利点を活かした授業の在り方の研修を深めることが十分ではなかった。 ●家庭学習の充実を図る手立てが十分ではなかった。	3.3	3.2	○少人数教育を活かした、個別最適化の学習を進めていく。 ○各種テストの分析から、生徒一人一人の課題を把握し、その解決に向かう学習指導を行う。 ○様々なツールを用いた、ICTの活用を推進する。 ○家庭学習の重要性を知らせ、生徒一人一人に合わせた効果的な学習の在り方を実践する。	3.8	○少人数教育を行かした授業をこれまでとおり続けてもらいたい。 ●希望する進学先に入学後も学力が向上する力をつけて欲しい。
	2	授業に工夫をしながら、生徒の変容を認め、褒める授業を行っている。		3.3	3.5		3.8	
	3	根拠をもって説明する力を育成している。		3.7	3.3		3.4	
	4	ICT機器の活用を行った授業を行っている。		3.5	3.5		3.8	
礼 節	5	生徒は、時と場に応じたあいさつができ、時間を守った行動ができる。	○率先したあいさつの定着のため、職員が率先してあいさつを行った。また、機会ある毎に礼節の重要性を確認した。 ○道徳や生活アンケート、教育相談を活用するとともに、常時、職員・生徒の言動について確認や指導を行った。 ○様々な情報モラル関連の資料を配付するとともに、講師を招き、生徒への講話を行った。 ○相談があった場合に限らず、気になることは保護者に連絡を取り対応するようにした。また、スクールカウンセラーへの対応も実施した。 ●十分は外部機関との連携が図れなかった。 ●相手を思いやる言動の指導が十分ではなかった。 ●語先後礼の推進や、会釈の充実が図れなかった。	3.5	3.5	○TPOに合わせた言動の重要性を認識させ、学級活動や道徳の時間等を活用性したコミュニケーション能力の育成を図る。 ○アサーティブ（相手を尊重した自己表現）を取り入れた学習内容を実践する。 ○スクールカウンセラー等、外部機関との連携を図り、安心して相談できる体制を構築するとともに、即時対応を行う。	3.7	○あいさつをよくするようになった。 ●地域の方と道ですれ違うときに、あいさつがあると、年配の方はうれしい気持ちになるので、少しずつできるようになるといいと思う。 ●学校内では、礼節は守られています。校外に出たときに守られているか疑問です。言葉遣いが気になることもあります。
	6	生徒は、相手の立場に立った言動に心がけている。		3.2	3.2		3.6	
	7	生徒は、情報モラルを守った活用をしている。		3.2	2.8		3.4	
	8	学校は、生徒や保護者が相談した時に、丁寧に応じている。		3.8	3.2		3.8	
鍛 錬	9	生徒は、心身の健康を図っている。	○保健便りや、関係資料を配付しながら、健康について確認した。 ○給食感謝集会では、栄養教諭を講師として招き、「食」「健康」等について講話を行った。 ○毎月校内の安全点検を行い、危険箇所の確認・修繕を行った。また、災害に関する避難訓練を実施するとともに、訓練時に講師招き、講話を行った。 ●継続した給食指導（残菜や時間等）が図れなかった。 ●学校生活以外での震災への対応が十分ではなかった。	3.2	3.5	○保健室との連携を図るとともに、外部機関との連携を行いながら、自身の健康を考えた生活を送る意識の向上を図る。 ○学校での避難訓練だけでなく、いかなる場合でも危機管理を行う意識の向上のため、学校外での避難場所や、対応を確認させる。	3.8	●避難訓練を地域と一緒にすることはとても良いことだと思う。年配の方も参加しているので、生徒にとっていいことだと思う。今後継続して欲しい。 ●健康が一番大事だと伝えて欲しい。
	10	生徒は、食に関して意識した生活を送っている。		2.7	3.2		3.5	
	11	学校は、生徒の安全に対して、適切な対策や対応、処置を行うなど、危機管理体制を整えている。		3.3	3.3		3.8	
魅 力	12	生徒は、学校行事や生徒会活動に積極的に取り組み、地域を愛する気持ちが高まっている。	○行事や生徒会活動で、生徒が「学び合い」「支え合い」「高めあう」のキーワードに、生徒が主体的に活動するようにした。また、清掃活動や行事おして、地域を愛する気持ちを高めた。 ○学校便り、学級通信の発行や、HP・メールによる情報発信を行った。	3.2	3.3	○生徒自身が考え、当事者意識を持ち作り上げる活動を支援する。 ○生徒や学校の様子がより具体的に分かる内容を発信するとともに、意見をいただく機会を作る。	3.7	○学校の様子はよく分かるようになった。 ○学校便りや、参観日、ふるさと祭り、運動会等をおして、地域の方々との交流は素晴らしいと感じます。 ●運営委員も中学校に直接関わることが増えるといいと思う。（中学校から関われることはありますか）
	13	学校は、情報発信等を行いながら、家庭や地域との連携に努めている。		3.5	3.7		3.8	